

公共政策プログラム農業政策コース

コースの目的

農業政策コースは食料・農業・農村を巡る地域の実情に合わせて、地域活性化のための政策の実践が行えるようになるとの観点から、公共政策を展開する上で必要な理論・知識や分析手法を習得するとともに、農林水産業やその関連分野の政策動向・課題の本質を理解し、総合的かつ実践的な政策展開を図ることができる実務家を育成することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー

農業政策コースで、学生が身に着けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 農林水産業に関する専門知識を持ち、地域の実情に合わせて課題を多角的な視点から分析し、問題点を抽出できる能力
- ② 農林水産政策にかかる幅広い知識を持ち、多角的な視野から学術的な分析に基づいた課題解決に向けた政策分析ができる能力
- ③ コミュニケーター、コーディネーターとして現場の状況を理解して、課題抽出をサポートし、幅広いネットワークで専門性の高い関係者をつなげていくことにより、農業者、食品事業者等による課題解決をサポートできる能力
- ④ 一つの課題を、統計データ等を活用して分析し、政策提言としてまとめ、かつプレゼンできる能力
- ⑤ 地域社会の事情に合わせ、異なる価値観に対して深い理解をもち、地域のコーディネーターとして活躍することができる能力

カリキュラム・ポリシー

【必修科目】

論文作成又は特定の課題についての成果のまとめに向け、専門分野の知識をより深く身に付けさせるとともに、より実践的なコミュニケーション能力、調査分析能力、課題解決力、論理的思考力を養成します。

【コース指定科目】

コース指定科目では、食料・農業・農村に関する政策課題を抽出し、分析するための知識・技術を習得するとともに、総合的かつ実践的な政策を構想・運営することのできる人材を育成するため、食料・農業・農村政策概論、食料・農業・農村政策特論Ⅰ・Ⅱ、現代食

料・農業論、「食」を通じた地域振興論を学び、食料・農業・農村政策の全体像、農地制度、米政策など特定テーマ、食料・農業政策における政治過程とEBPM等のほか、「食」を通じた地域活性化に関する知識を習得します。

また併せて外部からの専門家とのディスカッションなどを通じて、現場での実践手法を学び、地域に根差したユニークで実践的な政策の企画・立案力、遂行力を身につけることができるよう構成されています。

【個別指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

農林水産政策の総合的な企画立案を担うことが期待される行政官が主な対象です。現職が、農林水産関連部門であるかどうかは問いません。また、農業団体等の団体、食品産業等の民間企業の職員・研究者で農林水産政策と我が国の行政の仕組みに関する知見、政策分析の技能を獲得し、新たなビジネスの企画、実践に活かしたいという方も歓迎いたします。

入学前には、大学卒業程度の学力を有していることが求められます。また、関連分野における基礎的な知識や実務経験を有することが望ましいです。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類により審査を行います。

審査は、これまでの職務経験、推薦者 2 名による評価内容、大学(学部)の学位と勉強内容及び成績等から総合的に判断し、選考します。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では決められた設問に対する回答を論文形式で回答していただき、応募者の回答内容の論理性、的確性、政策課題への目的意識、学習意欲等を審査基準として選考します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラム農業政策コース

ディプロマポリシー① ディプロマポリシー② ディプロマポリシー③ ディプロマポリシー④ ディプロマポリシー⑤

区分	科目番号	科目名	①農林水産業に関する専門知識を持ち、地域の実情に合わせて課題を多角的な視点から分析し、問題点を抽出できる能力	②農林水産政策にかかわる幅広い知識を持ち、多角的な視野から学術的な分析に基づいた課題解決に向けた政策分析ができる能力	③コミュニケーター、コーディネーターとして現場の状況を理解して、課題抽出をサポートし、幅広いネットワークで専門性の高い関係者をつなげていくことにより、農業者、食品事業者等による課題解決をサポートできる能力	④一つの課題を、統計データ等を活用して分析し、政策提言としてまとめ、かつプレゼンできる能力	⑤地域社会の事情に合わせて、異なる価値観に対して深い理解をもち、地域のコーディネーターとして活躍することができる能力
区分I 必修科目	PPP400J	政策論文演習	○	○		○	
区分II 選択必修科目	ECO100J	ミクロ経済学 I		○		○	
	ECO105J	マクロ経済学		○			
	ECO270J	計量経済学		○			
	ECO271J	費用便益分析		○			
	GOV210J	政策過程論		○			
	GOV252J	行政の改革・革新と政策評価	○	○			
	GEN502E	The World and the SDGs		○			
	GEN503J	GRIPS Forum I		○			
	GEN504J	GRIPS Forum II		○			
	IPR102J	民法の基礎		○			
	MOR103J	データサイエンス基礎					○
	MOR110J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I					○
	MOR200J	計画と評価の数理					○
	MOR202J	実践データサイエンス					○
	MOR210J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II					○
	PAD310J	EBPM概論	○	○		○	
	REG120J	行政法の基礎		○			
(コース 指定科目)	REG203J	食料・農業・農村政策特論 I	○	○	○		○
	REG204J	食料・農業・農村政策特論 II	○	○	○		○
	REG205J	現代食料・農業論	○	○		○	
	REG295J	食料・農業・農村政策概論	○	○	○		○
	REG312J	「食」を通じた地域振興論	○	○	○		○
	DEV214J	景観・デザイン論	○				
	DEV215J	都市学の理論と実践	○				
	DEV216J	社会基盤整備のPPP/PFI	○				
	DEV218J	水圏国土学	○				
	DRM205J	気象と災害		○			
DRM301J	災害対策各論 II		○				
区分III 選択科目	ECO200J	ミクロ経済学 II		○			
	ECO202J	政府と市場		○			
	ECO260J	経済政策の理論と展開		○			
	ECO290J	ゲーム理論		○			
	ECO310J	日本経済の現状と課題		○			
	ECO333J	都市政策の空間分析		○			
	ECO344J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で		○			
	ECO362J	構造変化の下での財政金融政策		○			
	ECO375J	経済シミュレーション分析		○			
	GOV211J	日本政治と理論分析		○			
	GOV350J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応		○		○	
	GOV610J	政策過程論特別演習		○			
	PAD204J	中小企業経営と地域経済		○			
	PAD311J	都市政策演習		○			
	MOR301J	数理モデル分析演習		○			
	REG231J	地方自治と行政学		○			
			上記以外の授業科目		○		
区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目					